

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「国宝」中心の地域ブランド化と賑わい溢れるホスピタリティー創出事業
事業主体 (連絡先)	大名町町会
事業区分	(5) 環境保全及び景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	866,680円 (うち支援金: 693,000円)

事業内容

- ・ ワークショップ・学習会 (大名町通り高質化整備対策委員会): 開催9回
- ・ 街路観察会: 開催4回
- ・ 先進地視察: 開催2回 (横浜市および東京大丸有地区)
- ・ 国内外で活躍する一流のランドスケープの専門家と照明デザインの専門家を招いたシンポジウム (大名町都市デザイン講演会): 開催2回
- ・ 本事業の総合的成果物となる冊子「大名町通りの整備に関する提案 (A4/36 ページ)」150部の印刷



【大名町都市デザイン講演会】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 地域ブランド化を目指した街路空間・景観形成の方向性・ビジョンの考案に対しては、学習会、観察会、視察、講演会の実施により議論を深め、ビジョンと方向性を提示することができた。
- ② まちづくり・街路デザインに対する学習および町の人々の考える力の強化に対しては、委員会における学習や講演会、観察会によりまちづくりに対する理解を深めまちづくりにおける今後の課題を見据えることができた
- ③ まちづくり・街路デザインに対する町内でのコミュニケーション力向上については、委員会でまちづくりの議論が深められたとともに本事業をきっかけに委員会以外のコミュニケーション機会が増加した
- ④ 大名町街路における現況の問題点や今後取り組むべき課題の整理については、大局的に複雑な街路の構成要素について現況や問題点を整理できた。
- ⑤ 現況・問題点・今後の方向性を共有化するための資料作成については、本事業の総合的成果物として充実した冊子「大名町通りの整備に関する提案 (A4/36 ページ)」150部印刷が作成できた

【目標・ねらい】

- ① 地域ブランド化を目指した街路空間・景観形成の方向性・ビジョンの考案
- ② まちづくり・街路デザインに対する学習および町の人々の考える力の強化
- ③ まちづくり・街路デザインに対する町内でのコミュニケーション力向上
- ④ 大名町街路における現況の問題点や今後取り組むべき課題の整理
- ⑤ 現況・問題点・今後の方向性を共有化するための資料作成

※自己評価 【A】

【理由】 専門家を交えた学習や視察、コミュニケーションを通して、町が主体となってまちづくりの課題を整理、明確化でき、まちづくりの方向性を共有できるツールとなる冊子ができたため

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

「大名町通りの整備に関する提案 (A4/36 ページ)」の冊子や専門家による講演の成果を活用し、まちづくりに対するコミュニケーションをより活発化させながら実践レベルでも試行錯誤を繰り返しより良い大名町通りの街路空間形成を目指します。また、学習会を繰り返し、まちづくりに関するリテラシーを引き続き高めていきます。冊子を活用しながら、より良い公共空間をデザインするため、松本市等の行政とも協働、連携して取り組んでいきます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある